

ユニットケアで生き返った！

～ハードよりソフトを重視して～

介護老人保健施設ウイング

介護職 湯浅英子

共同研究者 山下倫央

施設紹介（主な特徴）

介護老人保健施設ウイング

東京都府中市

H11.11月開設

独立型老健

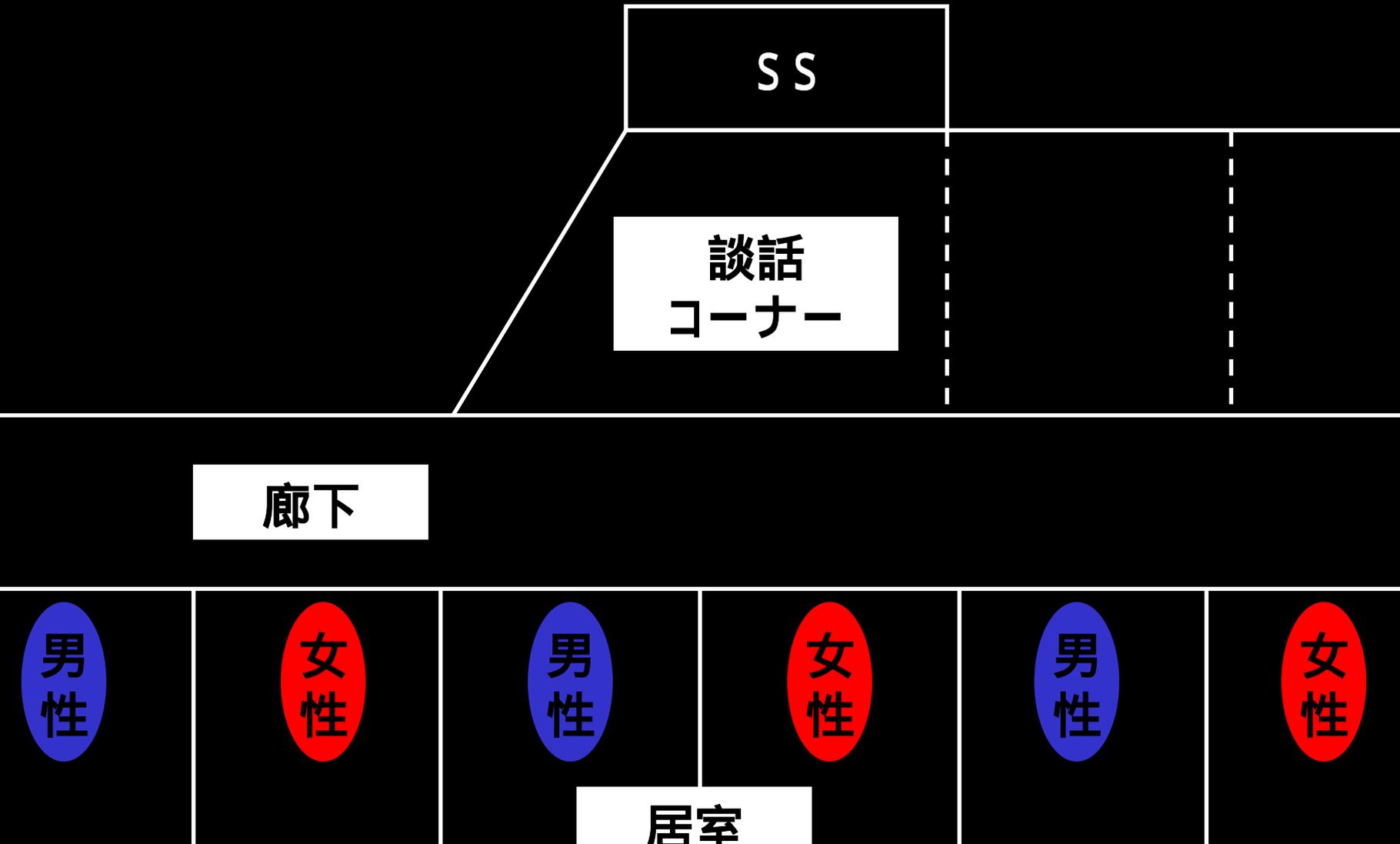
ベッド数 140床

痴呆専門棟（40床）一般棟（100床）

通所リハビリ：40名/日

2003年1月：ISO9001認証取得

以前の配置図



SS

談話
コーナー

廊下

男性

女性

男性

女性

男性

女性

居室

大集団ケアから小集団ケアへ

大集団ケア

一方通行的
押しつけ
個性を無視

小集団ケア

利用者間の
交流up

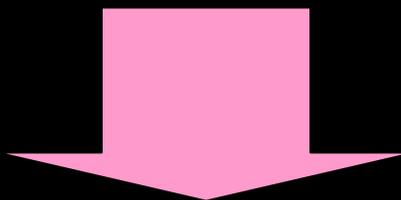
スタッフとの
双方交流

個性が見えてくる

昨年の小集団化への第一ステップ

< 少人数での食事を・・・ >

4～6人テーブル席の固定化
席にネームを貼る



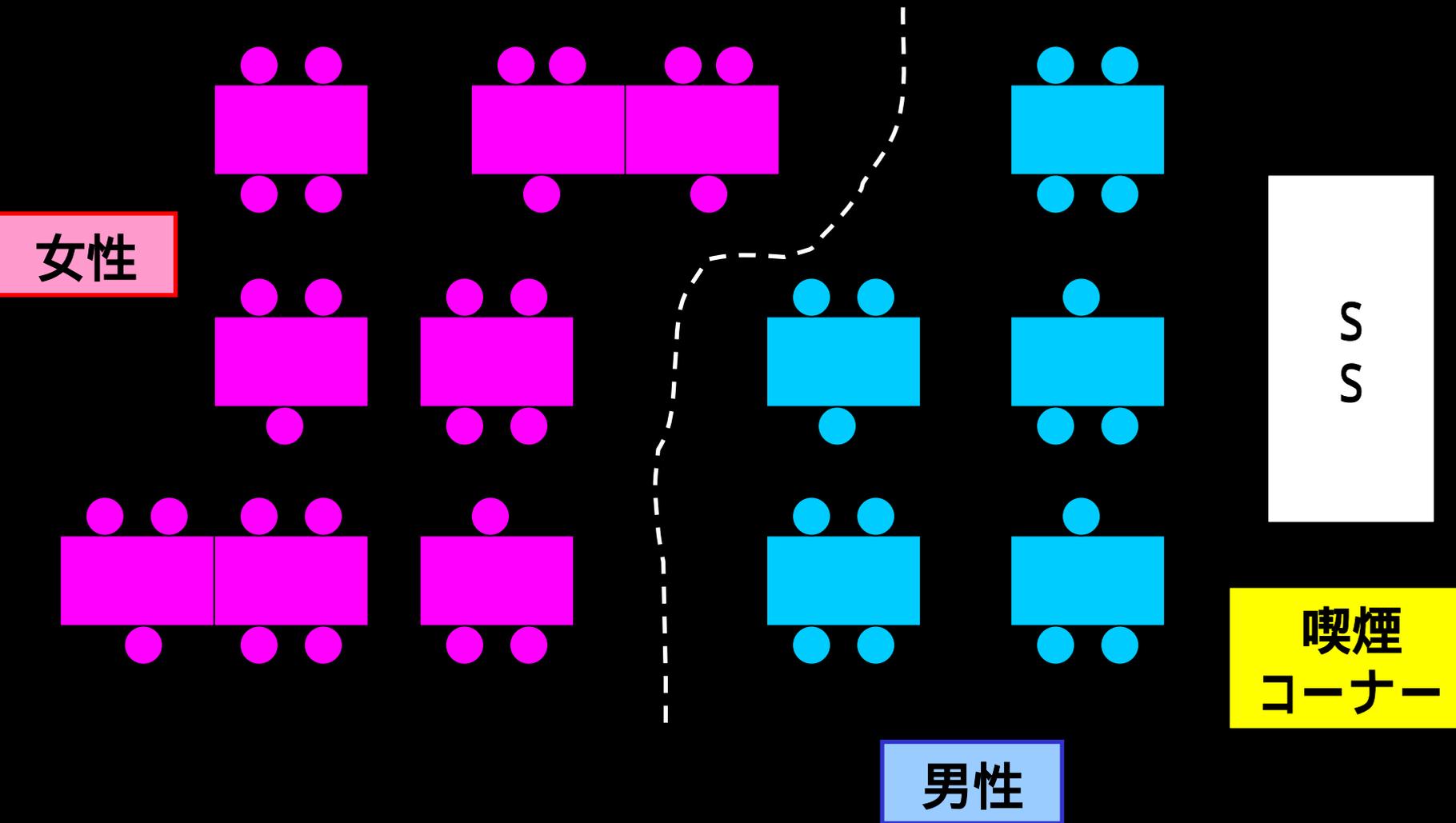
いつもの顔と安心して団らん
名前を呼び合うように・・・

第一ステップの課題

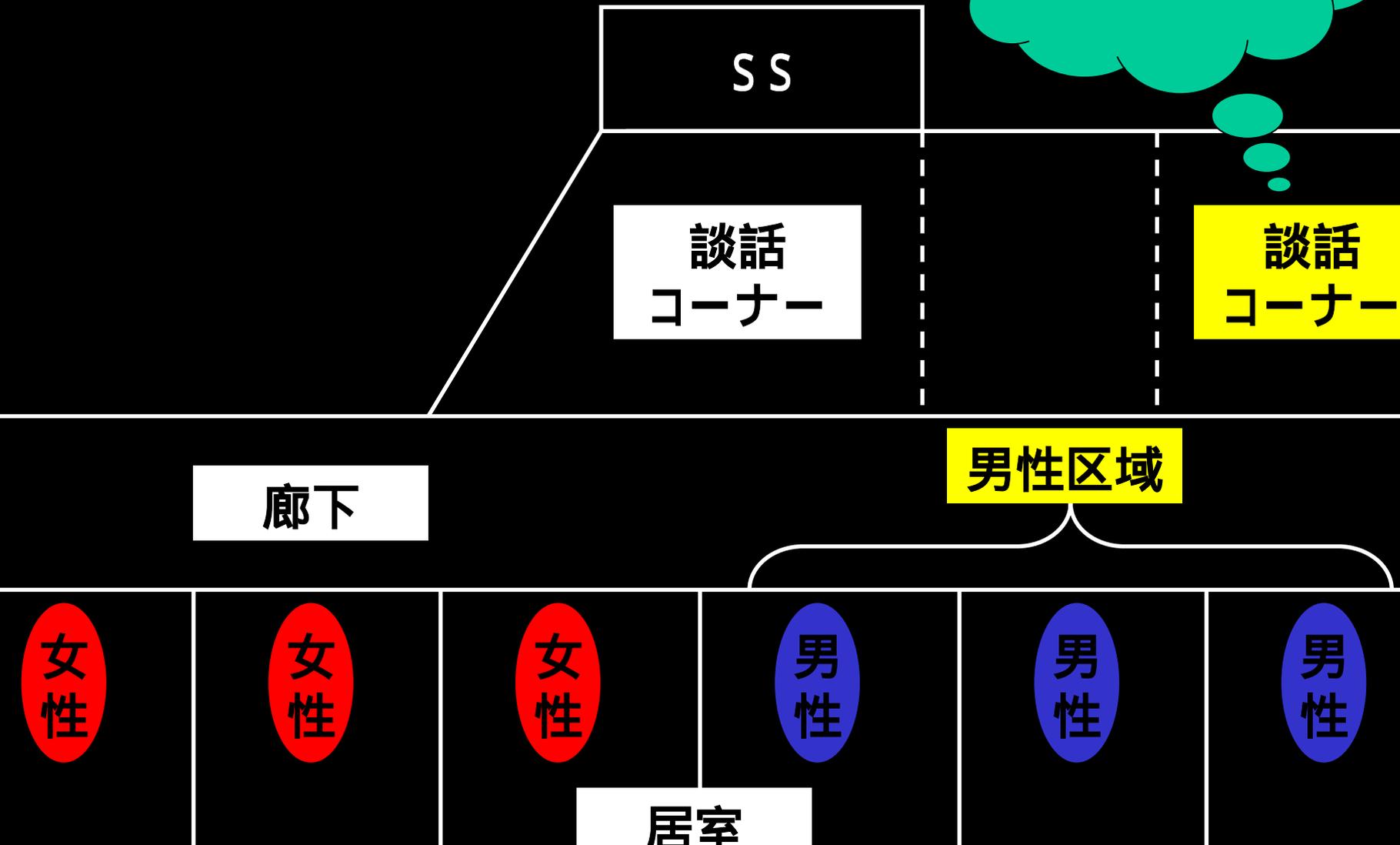
痴呆度別のグルーピングだった為、
各テーブルに男性が散らばり
浮いた存在に・・・

食事の場だけでは
人間関係がまだ希薄・・・

新しい食堂の配置図



居室の配置



ソフト面での工夫

- 男性グループに、新聞をまとめてもらったり、おしぼりを準備してもらったりと役割を設定
- 麻雀や囲碁将棋クラブなど、男性メインのクラブ活動の設置
- 散歩や喫茶コーナーなどへ、グループ毎に参加・声かけする。

棧敷でくつろぐ



おしぼりの準備



エプロンたたみ



麻雀クラブ



トイレ誘導

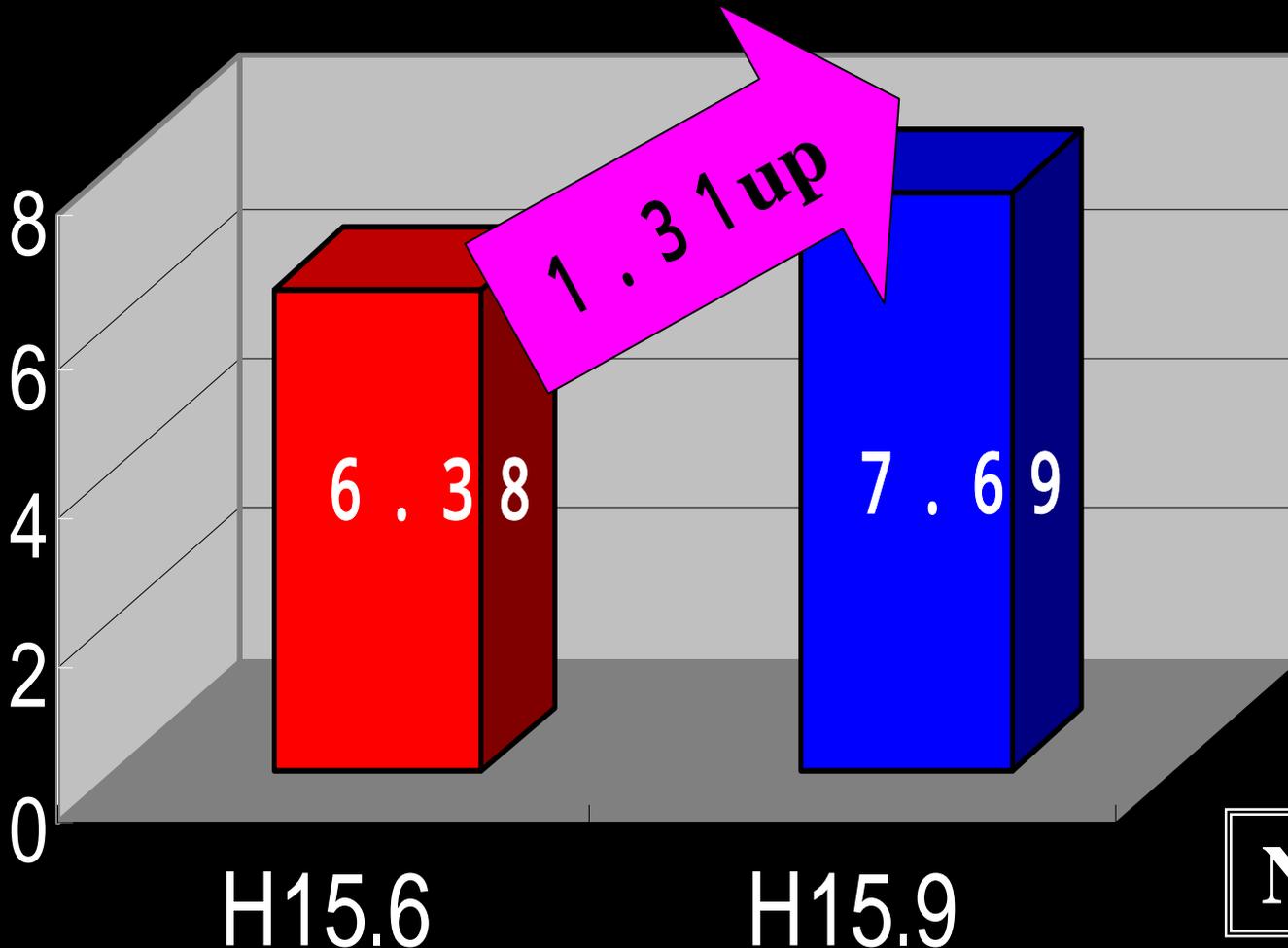


居室での様子



男性利用者の意欲の変化

Vitality Index を用いて評価



整容



下膳



一服



ペン字クラブ



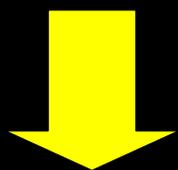
テレビ鑑賞



麻雀クラブ参加



歯磨き

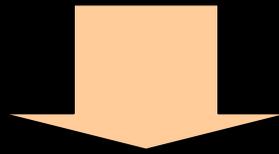


就寝

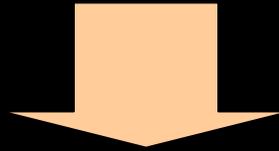


考察

独りで過ごすことを好む男性



男性同士の間関係構築を支援



「押しつけ」ではなく「自発的」な活動に

まとめ

絶対数の多い
女性に目が行き
がち

自立度の高い
男性利用者が孤
立しがち

同姓同士が人
間関係を作り易
い

男性グループ
の生活・活動を
支援する必要性